

TATSUMI ホールディングス株式会社

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2025年9月25日



大垣共立銀行とOKB総研は、TATSUMI ホールディングス株式会社とそのグループ会社（以下、「同グループ」という）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

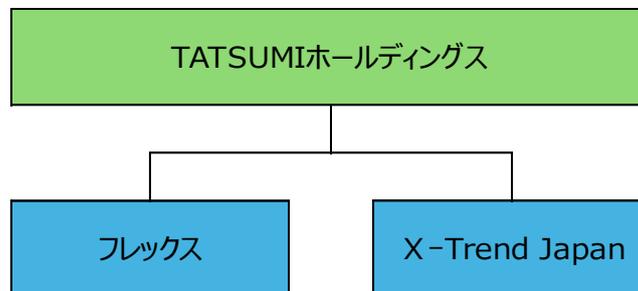
1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) TATSUMI ホールディングスグループの企業概要.....	1
(2) TATSUMI ホールディングスグループの事業概要.....	4
(3) 経営理念	12
(4) サステナビリティ.....	13
2. インパクトの特定	15
(1) バリューチェーン分析.....	15
(2) インパクトマッピング	15
(3) インパクトレーダーによるマッピング	16
(4) 特定したインパクト.....	17
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	19
3. インパクトの評価	22
4. モニタリング.....	24
(1) TATSUMI ホールディングスグループにおけるインパクトの管理体制	24
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	24

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) TATSUMIホールディングスグループの企業概要

企業名	TATSUMIホールディングス株式会社
創業・設立	2024年4月
代表者名	関谷 達美
資本金	100万円
従業員	グループ全体 25人 (2025年2月時点)
事業拠点	岐阜県揖斐郡大野町下磯 472-1
事業内容	不動産管理、スポーツ用品のリース・レンタル、スポーツ用品の販売
関連会社	株式会社フレックス 株式会社 X-Trend Japan

<グループ構成>



<株式会社フレックス>



TATSUMI ホールディングス株式会社傘下のグループ企業である株式会社フレックスと株式会社 X-Trend Japan が事業の中心となっている。

- 株式会社フレックスの企業概要

企業名	株式会社フレックス
創業・設立	2000年7月
代表者名	関谷 達美
資本金	300万円
売上高	471百万円(2025年6月期)
事業拠点	岐阜県揖斐郡大野町下磯472-1
事業内容	スポーツ施設の運営および受託運営 スポーツクラブ・スポーツ教室・文化教室の経営 スポーツ用品・美容健康器具の販売および賃貸業務 各種イベントの企画・構成・運営 各種資格講習会の開催 古物の販売業 その他

- 株式会社 X-Trend Japan の企業概要

企業名	株式会社 X-Trend Japan
創業・設立	2012年4月
代表者名	関谷 達美
資本金	100万円
売上高	260百万円(2025年3月期)
事業拠点	岐阜県瑞穂市本田553番地2
事業内容	輸出入貿易業 スポーツ用品・美容健康器具の販売および賃貸業務 各種イベントの企画・構成・運営 古物の売買業 その他

<沿革>

2000年 7月	有限会社フレックス 設立 フィットネスクラブ運営開始
2000年 10月	マシン事業部 トレーニングマシンメンテナンス業務開始
2001年 6月	中古トレーニングマシン販売事業開始
2002年 4月	オンライン販売開始
2007年 2月	輸入トレーニングマシン（中国）販売開始
2008年 1月	輸入トレーニングマシン（台湾 X-Trend）販売開始
2008年 2月	岐阜県瑞穂市の倉庫に中古トレーニングマシンの展示開始
2012年 6月	商号を株式会社フレックスへ移行
2012年 4月	株式会社 X-Trend Japan 設立
2012年 7月	株式会社 X-Trend Japan と業務提携 OEM 生産開始
2013年 3月	油圧 G2 シリーズ販売開始
2013年 6月	イーグルシリーズ販売開始
2014年 6月	eストレッチシリーズ販売開始
2015年 9月	HS (ALB) シリーズ販売開始
2015年 10月	油圧 Q シリーズ販売開始
2017年 11月	INSPIRE シリーズ販売開始
2018年 3月	東京 Care WEEK 2018 出店
2018年 6月	F ストレッチシリーズ販売開始
2020年 1月	新社屋移転 / 現本社 岐阜県揖斐郡大野町
2020年 6月	FL シリーズ販売開始
2020年 10月	F システム（会員管理システム）販売開始
2023年 12月	ZKC 販売開始（国際 IWF 公認メーカー）
2024年 4月	TATSUMI ホールディングス株式会社設立

(2) TATSUMI ホールディングスグループの事業概要

同グループはフィットネスジム等で使用する業務用トレーニング設備を主力製品とし、自社オリジナルブランド製品の開発・展開、国内外メーカーの販売代理店、中古トレーニング設備等の買取・メンテナンス・販売を行っている。また、フィットネスジム等の開業支援およびリニューアル支援や、会員制のジムに必要なソフトを一つにまとめた会員管理システムの開発・提供など、健康産業を補うフィットネス創造企業として人々の健康増進に貢献している。

【事業内容】

・ ウェイトマシンのリストア

創業以来、同グループは常に中古ウェイトマシンと共に歩んできた。20 年以上にわたり磨かれた技術で次の中古マシンにつなげている。

<ウェイトマシンのリストア>

- 分解
整備時には必ず、各部品の分解作業を実施。部品の破損・損失に気を付けながら、次の工程で整備がしやすいように丁寧に分解する。
- パッド分解
中古商品はすべてレザーの加工・張替えを実施。裏板やパッドの形状に注意し分解する。
- レザー加工
レザー加工はすべてオーダーメイドとなっている。型紙起こし、断裁、縫製まで一貫して行い、職人の作業により丁寧に仕上げる。
- パッド加工
加工されたレザーをタッカーで取り付け。シワやヨレに注意しながら、ピンと張った仕上がりを熟練した技術で取り付ける。
- 錆取り
部品や本体フレームをチェックして錆部分にブラシグラインダーを用いて錆取りを実施。再度発生する錆を抑止する。
- ワイヤ交換
駆動部の要となるワイヤを交換する。中古商品の劣化したワイヤを交換することで、マシンの動作性を復活させる。
- 塗装
塗装剥がれや、日焼け、傷などのある部分を修復。中古感を打ち消すポイントであり、吹付、タッチアップ、全塗装などを実施する。
- 清掃
埃や汚れ、油汚れなどの清掃を徹底的に実施。中古特有の使用感を取り除き、新品と見間違えような清掃を心掛けている。

- 組立
それぞれ整備した部品の組立を行う。分解したパーツを丁寧に組み上げ慎重に取り付ける。
- 動作確認
作業員と動作責任者のダブルチェック体制で細かいチェックを元に動作確認を実施。部品・整備漏れ、動作性の復活を確認する。

<分解>



<組立>



- レザーの張替え
レザーの縫製・張替えを内製化することで、中古マシンはすべてレザー張替えを含んだ料金を提示している。店舗カラーや好みに合わせたカラーにすることも可能。製品の見た目が大きく変化するため、丁寧な作業を心掛けている。既存施設のマシンのレザー張替えにも対応している。



- フィットネスジム 開業支援
フィットネスジムやパーソナルジムを開業したい人を対象に、事業計画から物件、内装、集客マーケティング、採用、教育といったジムを開業・運営するまでのノウハウを提供している。
 - ① ヒアリング
希望立地、スペース、ターゲット、予算、オープン日などをヒアリングし、事業計画書・収支予測・ターゲット・マシン選定の見積りを行う
 - ② 申込
事業計画等を元に開業支援を開始
 - ③ 事前調査
事前に同グループの調査を元に立地と物件を提案
 - ④ 機材選定・許認可取得・広告制作
<機材選定>
見積り・予算を元に導入するマシンの最終決定と、マット、ロッカーなどの必要備品を確定

＜許認可取得＞

ジム運営に必要な書類の作成をサポート

＜広告制作＞

物件やシミュレーションが固まった段階でホームページやチラシなどの広告制作を開始

⑤ 機材導入・システム導入

＜機材導入＞

導入したトレーニングマシンとその他機材を設置してジムの形を作る

＜システム導入＞

会員管理システムを導入し、スタートアップ研修を実施

⑥ トレーナー研修

同グループのスタッフが、受付方法や接客対応、クレーム想定、マシン指導などの必要なスキルを教育

⑦ 開業

⑧ 開業後の支援

会員システムの操作サポート、クレーム対応方法、収支管理の支援を実施して成功へのサポート支援を継続

[メリット]

➤ 年間 1,000 件超の実績

同グループが保有する成功事例と失敗事例それぞれの事例を元に、顧客ごとにフィットするノウハウを提案

➤ 開業前の準備

コストと時間、人員を一元管理することで、発注手続や発注業者の選定等スピードアップを図ることが可能

➤ 補助金・助成金の申請支援

開業時に最適な補助金や助成金の申請をサポート

• フィットネスジム リニューアル支援

既存のフィットネスジムやパーソナルジムを最新のトレンドや利用者ニーズ・設備面などに対応できるように改修・改装し、再生・収益向上を目指す。

施設の新設もリニューアルも一貫した品質とスピードで対応することができる。トレーニングマシン専門店ならではの機材知見を活かし、リニューアル後の集客力アップを図り運用効率を高める。

[メリット]

➤ 視認性・ブランド力の刷新

空間デザインや動線の改善、看板・内装などの見直しにより、利用者にとって魅力的でわかりやすい施設に刷新、既存利用者と新規利用者の双方に効果的

- 運営効率の向上
施設・設備の老朽化対策や無人化システムの導入により、スタッフ負担の軽減・稼働率アップ、コスト削減をサポート
- 収益力アップ
新たなプログラム導入やマーケティング施策（リニューアル後の販促戦略）を組み合わせ、会員単価・入会数・利用頻度向上を狙った改善プランを提案

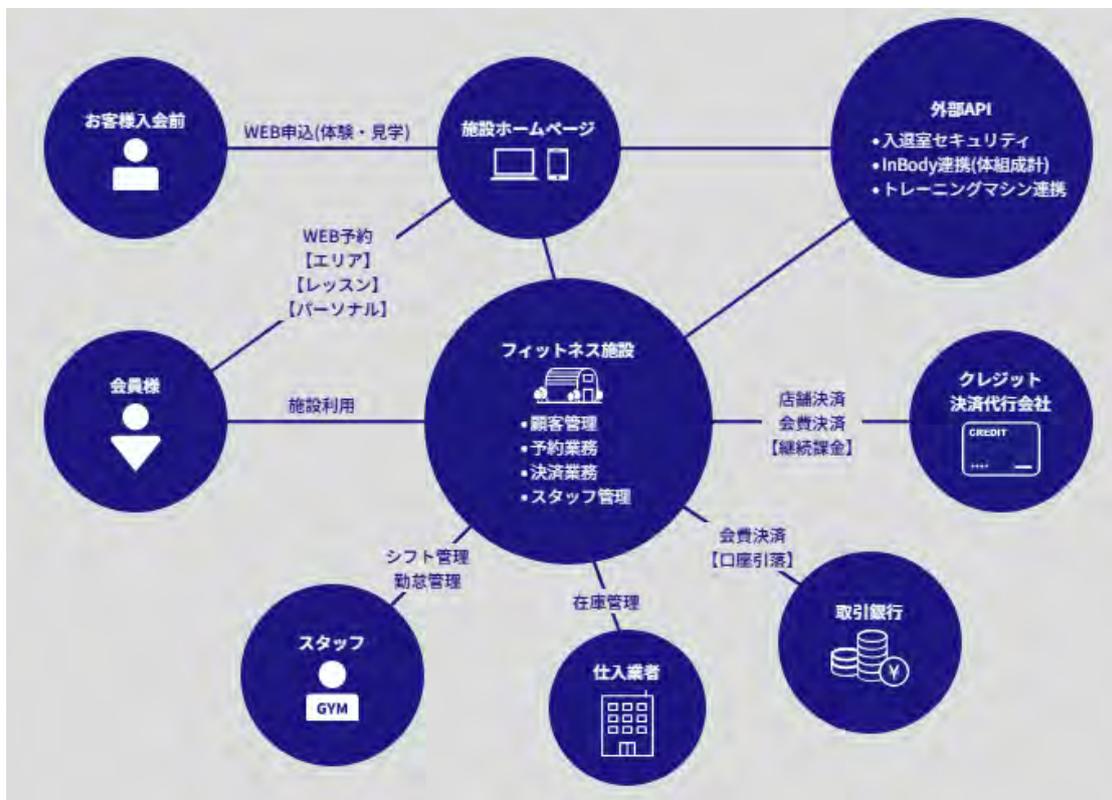
● 総合会員管理システム（Fシステム）

同グループでは、トレーニング設備の提供に留まることなく、業務の効率化やサービスの利便性向上に向けた管理システム「Fシステム」を提供している。

効率的なジム運営ができるよう顧客とのヒアリングを実施し、顧客の要望に合わせてシステムをカスタマイズしている。導入時には、初期セットアップに加えて、出張導入トレーニングを案内するなどフォローも徹底している。



<イメージ図>



【オリジナルブランド製品】

- EAGLE (イーグル) GRD

限られたトレーニングスペース内では多くのトレーニングマシンを設置することは難しく、それを解消できるデュアルモデルのラインナップ。1台で2役というバランスが高効率・高回転率のトレーニング環境を創出。

<ウエイトマシン>



<ステーションマシン>



- EAGLE (イーグル) MX

パーソナルトレーニングやプライベートジム、ホームジムなどで利用することを想定して、1台でもオールアウトできる仕様となっている。

<ウエイトマシン・ステーションマシン>



- ALBATROSS (アルバトロス)
スムーズな動作性と高強度でトレーニング時の安定性を高め、集中して取り組むことができる環境を作り、デザイン性をシンプルにすることで、圧倒的なコストパフォーマンスと使いやすさを重視した設計を求めている。大型スポーツジム・個人ジム・学校施設等あらゆる施設に対応。

<ウエイトマシン>



<ステーションマシン>



<プレートローディング>



- Fストレッチ
競技力向上を目的としたアスリートの「パフォーマンスアップ」と健康促進を目的とした「ライフアップ」をコンセプトにしている。プロアスリートの更なるパワーアップ、人生 100 年時代の中で、衰える筋肉や鈍くなる運動神経を刺激する。身体の柔軟性・可動域向上、血流改善や身体の不調改善が期待できる。

<ストレッチマシン>



- FL (エフェル)
トレーニングマシン専門店の経験とノウハウを凝縮したプロの目で本当に良いものに練り上げたシリーズ。
無駄を削ぎ落とし、トレーニングマシンにコンパクトという美しさを表現。

<ウエイトマシン>



- X-TJ (エックスティージェイ)
日本人向けのフィットネス商品。国際的なネットワークを生かした商品仕入と品揃えで、フィットネスの豊富な需要に対応。

<ランニングマシン>

<フィットネスバイク>

<クロストレーナー>



【同グループの強み】

- 同グループは、中古トレーニングマシンの取り扱い開始以降、大手ブランドの取り扱い、自社ブランドの開発と専門店としてのブランドを着実に確立してきた。現在では、約1,000坪の大型倉庫を保有し、総在庫数は新品・中古品合わせて9,500点を超えている。トレーニングマシン業界では在庫保有台数・年間整備台数ともに国内最大級のボリュームと実績を誇っている。
- 多種多様なメーカー・ブランドのトレーニングマシンを、良質な部品への交換・必要に応じたパーツの改良を加え出荷している。長年のマシン整備経験を活かし各メーカーの利点や欠点を把握した上でオリジナルマシンを開発している。
- 商品の仕入から製造、メンテナンス・レストア、販売、アフターフォローに加え、顧客の開業支援等トータルサポートに取り組んでおり、顧客から高い信頼を得ている。

【今後の展開】

- フィットネス業界は、コロナ禍以降に高まった健康志向を取り込んだほか、多くの企業がSNSを活用したプロモーション活動を強化したこと、積極的な新規店舗の開設といった取り組みも奏功し、拡大傾向にある。また、同業界の顧客は高齢者も多いことに加え、若年層の美容・健康意識が高まっており、様々な年齢層にアプローチできるという特徴がある。
このような環境下、ターゲット層の拡大を目指し、現在岐阜大学と連携し開発を進めているオリジナルのリハビリトレーニングマシンの製品化を進め、医療や介護分野における機能回復、健康増進分野への貢献を深めていく方針である。
- 国内のみでなくベトナム等の海外市場への展開も視野に入れていく。
- 多様なトレーニングニーズに応えるためにトレーニング施設と自社オリジナル製品のショールームを兼ねたフィットネスジムを開店予定であり、顧客の様々なライフスタイルに合わせたトレーニング環境を提供していく。

(3) 経営理念

同グループは国内における健康増進の支援、スポーツ・フィットネス文化の発展に貢献することを目的として、以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【経営理念】

誰もが安全で効果的なトレーニングを行える環境を整備し、健康で活力のある社会を実現する

【価値観】

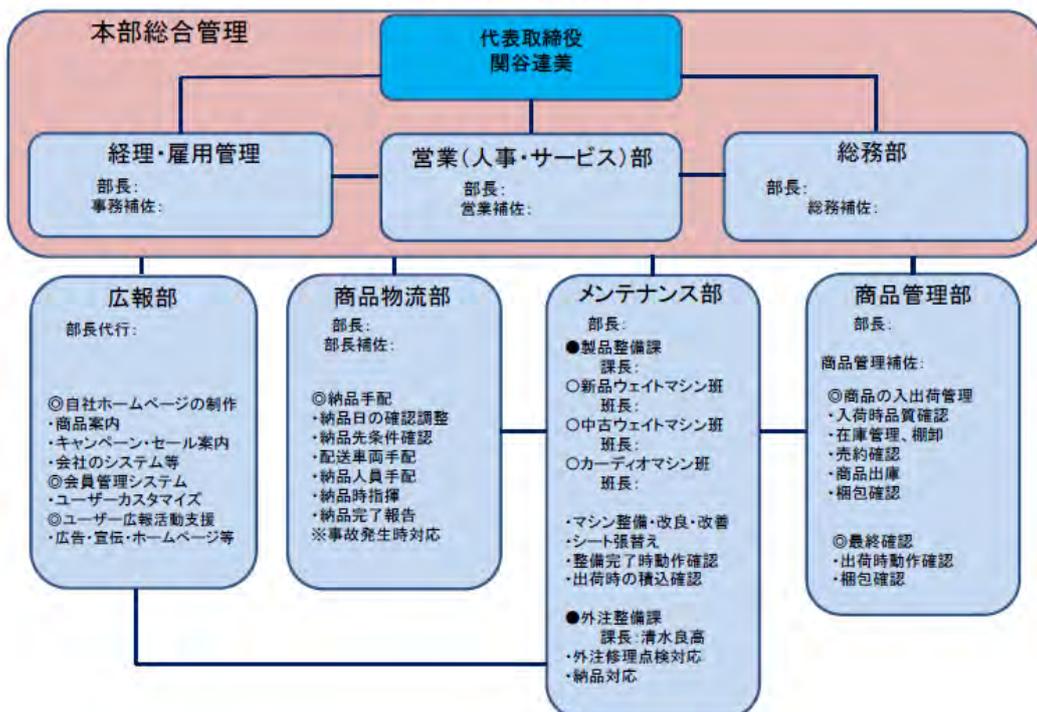
- 「品質第一」
安全で効果的なトレーニングが行える環境を整備し、健康で活力のある社会を実現する
- 「顧客満足」
お客さまのニーズに応え、最適なフィットネスソリューションを提供します
- 「健康促進」
トレーニングを通じて、より良いライフスタイルをサポートします
- 「社会貢献」
健康づくりを支援し、地域社会やスポーツ文化の発展に貢献します

【スローガン】

健康を、もっと身近に

【組織体制】

フレックス組織図



(4) サステナビリティ

同グループはSDGs宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

「SDGs宣言」

働きやすい職場の実現

ワークライフバランスを意識し、社員全員が心身ともに健康でやりがいを持って働き続けられるような職場環境づくりに取り組んでまいります。

事業活動

高品質なトレーニングマシンをご提供することで安全で効果的な運動の実践を促進し、皆様の健康づくりのお役に立てるよう日々精進してまいります。

環境配慮と地域貢献

地球環境の保全に努めるとともに、地域貢献活動に積極的に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 働きやすい職場の実現

- 健康経営優良法人認定の継続取得
- 資格取得サポートや資格手当の付与によるスキルアップ支援
- 社員旅行やフィットネスクラブ等、福利厚生の充実を通じた働きやすい環境整備



② 事業活動

- 中古のトレーニングマシンの買取、メンテナンス、販売による循環型社会への貢献
- 医療機関と連携したリハビリマシンの製造・販売
- 利用者様の健康増進に貢献



③ 環境配慮と地域貢献

- 太陽光発電設備や LED、電気自動車等の導入による省エネの推進
- シルバー世代の積極的な雇用を通じた地方創生への貢献
- ドラゴンズアカデミー※等、地元の団体やイベントへの協賛



※ 2025年4月、プロ野球中日ドラゴンズのOBが指導する野球教室「ドラゴンズアカデミー岐阜・大野町校」が開校

<揖斐郡大野町レインボースタジアム>



④ その他 (SDGs 宣言以外)

- 揖斐郡大野町に乳がん触診モデルと健康パワーポイント教材を寄贈



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同グループは、フィットネスジムで使用する業務用トレーニング設備の販売を主力事業とし、国内外のトレーニングメーカーや自社ブランド製品について、新品・中古と幅広く取り扱い、社内で確実な整備メンテナンスを実施したうえで、顧客へ提供している。また、創業以来培ってきたトレーニング設備のノウハウを活かし、フィットネスジム等の開業支援およびリニューアル支援や、会員制のジムに必要なソフトを一つにまとめた会員管理システムの開発・提供している。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同グループの事業を、「スポーツ用品製造業（国際産業分類：3230）」、「専門店によるスポーツ用品小売業（同：4763）」、「中古品小売業（同：4774）」とする。
- 川下の事業を、「スポーツ施設運営業（同：9311）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			同社の事業						川下の事業		
業種 (国際標準産業分類コード)			スポーツ用品製造業 (3230)		専門店によるスポーツ用品小売業 (4763)		中古品小売業 (4774)		スポーツ施設運営業 (9311)		
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	人格と人の安全保障	紛争									
		現代の奴隷制度									
		児童労働									
		データのプライバシー									
		自然災害									
	健康と安全	健康と安全	●	●	●	●		●	●	●	
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	水						●			
		食糧									
		エネルギー									
		住居									
		健康と衛生									
		教育									
		移動手段									
		情報									
		コネクティビティ									
		文化と伝統				●					
	ファイナンス										
	生活	雇用		●		●		●		●	
		賃金		●	●●	●		●		●	●
		社会的保護			●		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等									
		民族/人種の平等									
		年齢差別									
その他の社会的弱者											
社会経済	強力な制度、平和、安定	法の支配									
		市民的自由									
	健全な経済	セクターの多様性									
		零細・中小企業の繁栄	●		●●		●●				
	インフラ	インフラ									
経済収束	経済収束										
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●			●				
	生物多様性と健全な生態系	水域		●			●				
		大気		●			●				
		土壌					●				
		生物種					●				
		生息地					●				
	サーキュラリティ	資源強度			●●		●●				
		廃棄物		●		●	●●			●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

同社の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。
 なお、川下の事業については、同社が与える影響は限定的であるため、インパクトを特定しない。

	大分類	インパクトエリア	インパクト		取組内容	対応するSDGs	
			PI	NI			
同社	社会	健康と安全	健康と安全	○	○	安全なフィットネス設備の普及により、人々の健康福祉の増進に貢献している。 リハビリが必要な方向けの製品開発などに幅広い利用者が活用できる設備を提供している。 海外（ベトナム）市場への進出も検討している。 従業員が安全に働けるよう、製造現場の安全管理を徹底している。 従業員が長く働き続けられる職場づくりを推進し、健康増進に向けた諸施策の実施、福利厚生充実、高齢者の積極採用に取り組んでいる。	3 8.8
		生活	雇用	○		従業員にトレーニング指導員（健康運動指導士）資格取得を推奨し、取得に係る費用等を支援している。	8.5 8.6
	社会経済	健全な経済	零細・中小企業の繁栄	○		フィットネスジムの効率的な運営を行えるシステム開発、導入支援を実施し、フィットネス産業の発展に貢献している。	3
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	社用車のハイブリッドカー等のエコカーへの切り替え、電動フォークリフトへの切り替えによるCO2排出量削減に取り組んでいく方針である。	13.2
		サーキュラリティ	廃棄物			○	中古のトレーニング設備を、新品同様にリストアできる技術を有しており、リユース促進による廃棄物削減に貢献している。 作業指示書等の紙資料をDX導入により、ペーパーレス化を推進する。

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いため、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトを ESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営推進

- 同社は、2025年2月にSDGs宣言を行い、地球環境の保全に取り組んでいる。
- 具体的な取り組みとして、社用車（全11台）を、順次ハイブリッド車等のエコカーへ切り替え、全てのフォークリフト（9台）を電動フォークリフトへ切り替える方針であり、事業活動を通じたCO2排出量削減に取り組んでいく。
- また、積極的なDX化の推進により、作業指示書等の紙媒体でやり取りしている業務についてペーパーレス化を推進し、環境負荷軽減を促進していく方針である。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会 (Social)

健康増進を担うフィットネス事業拡大と、高齢化社会を支える健康産業進出

- 同グループは、自社ブランド、国内外のトレーニングメーカー製品について新品・中古と幅広く取り扱い、社内での整備メンテナンスを実施した上で提供しており、トレーニングジム運営事業者や学校等の業務効率化、サービス提供レベル向上に向けた多角的な支援サービスも展開しており、健康増進に貢献している。
- 現在、これまで蓄積してきた技術、ノウハウを活用しながら、岐阜大学と連携してオリジナルのリハビリトレーニングマシンの開発・製品化を進めている。また、国内のみでなくベトナム等の海外市場への展開も視野に事業を展開していく方針であり、健康増進、経済活性化に貢献している。
- このインパクトは「健康と安全」、「零細・中小企業の繁栄」のカテゴリに該当し、社会面と社会経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

人財の成長支援および働きやすい職場環境の構築

- 同グループは、業務の専門性や誠実な対応を「強み」と捉え、従業員教育も重視しており、トレーニング指導員（健康運動指導士）資格取得を推奨している。資格取得の支援として、大学等の講義受講に係る費用を負担している。
- また、同グループでは、OJT による技能継承や整備作業のマニュアル化推進等の取り組みにより、年齢に関係なく働きやすい職場環境を構築しており、高齢者人材の雇用創出に取り組んでいる。現在シルバー採用の従業員は 5 名であるが、今後 3 倍に増やす方針である。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.5 : 2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
 - 8.6 : 就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

企業統治 (Governance)

コンプライアンスの徹底

- 同グループは現在、システム導入による業務効率化やペーパーレス化の取り組みを進めているが、今後事業拡大とともに従業員数が増加することが見込まれるため、コンプライアンス対策を含めた教育体制の充実を検討している。
- このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5 : 2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。

上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「8」において、課題が残る または重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 海外におけるインパクトニーズ

- 同社は、今後ベトナム市場への進出を計画しているため、ベトナムの「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、インパクトニーズについても整合性を分析する。
- 特定したインパクトに対する SDGs のゴールがベトナムにおいても重要度が高いことが確認できる。



③ 岐阜県におけるインパクトニーズ

- 岐阜県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

岐阜県 SDGs 未来都市計画 –SDGs の推進に資する取組（抜粋）–
<ul style="list-style-type: none"> ○環境保全の推進 ○「脱炭素社会ぎふ」実現に向けた取組みの加速化 ○県内産業の活力の強化 ○地域経済を支える広域ネットワークの形成 ○誰もがともに活躍できる共創社会の実現 ○新次元の地方分散に向けた環境整備

④ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題 (マテリアリティ)
環境に配慮した経営推進	気候変動対応、環境保全
健康増進を担うフィットネス事業拡大と、 高齢化社会を支える健康産業進出	地域経済の持続的成長
人材の成長支援および働きやすい職場環境の構築	多様な人材の活躍推進
コンプライアンスの徹底	コーポレートガバナンスの高度化

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

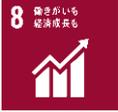
環境に配慮した経営推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候の安定性」「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトの電動化、社用車の EV やハイブリッド車等エコカーへの切り替えなど CO₂排出量削減に向けた取組実施 ・社内事務の DX 推進によりペーパーレス化を推進
KPI	<p><グループ全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2029 年 6 月までに所有フォークリフト全車を電動フォークリフトにする (2025 年 6 月時点：9 台中 1 台) ・2030 年 6 月までに社用車のエコカー率を 75%以上とする (2025 年 6 月時点：社有車 11 台のうち 5 台がエコカー) <p><株式会社フレックス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 6 月期までに作業指示書の使用量を、2025 年 6 月期比で 100% 削減 (使用量 0 枚/年) する (2025 年 6 月期実績：使用量 4,800 枚) <p>※以降の目標は改めて設定する</p>

健康増進を担うフィットネス事業拡大と、高齢化社会を支える健康産業進出

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康と安全」「零細・中小企業の繁栄」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングマシンで、体づくりから健康づくりまで実現 ・自社ブランドのフィットネス施設の FC 展開 ・岐阜大学と連携した自社ブランドのリハビリトレーニングマシン開発 ・医療・介護分野へのリハビリトレーニングマシン導入 ・今後の健康産業普及がみこめるベトナム進出に向けた市場調査、販路開拓
KPI	<p><株式会社フレックス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 6 月期までに、自社ブランドのフィットネス施設を FC 展開にて 10 件以上に拡大する（2025 年 6 月期実績：0 件） ・2030 年 6 月期までに、自社ブランドのリハビリトレーニングマシン関連の売上高を 1 億 2 千万円以上に拡大する（2025 年 6 月期実績：1,000 万円） ・2030 年 6 月期までに、国内向け売上を向上しつつ、ベトナム向け売上シェアを 10%以上に拡大する（2025 年 6 月期実績：0%） <p>※以降の目標は改めて設定する</p>

人財の成長支援および働きやすい職場環境の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング指導員（健康運動指導士）資格を推奨、学費補助 ・シルバー人材（ハローワーク求人）の積極的な活用
KPI	<p><グループ全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 6 月までに、トレーニング指導員（※健康運動指導士）資格取得者を 5 名以上とする (2025 年 6 月実績：従業員 25 名のうち取得者 2 名) ※厚生労働省認定の公的資格 ・2030 年 6 月までに、シルバー採用（ハローワーク求人）を 15 名以上とする (2025 年 6 月実績：5 名) <p>※以降の各目標は改めて設定する</p>

4. モニタリング

(1) TATSUMI ホールディングスグループにおけるインパクトの管理体制

- ・ 同社では、関谷達美社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- ・ 今後については、本件にかかる責任者を関谷達美社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- ・ 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。